

平成 19 年 5 月
ネットワーク全労生

北海道地方労組生産性会議の活動の紹介

北海道地方労組生産性会議
議長 筒井 剛

わが国の経済は、好調な輸出や設備投資を背景に緩やかな景気拡大が続き、完全失業率の下げ止まりなど雇用についても改善が見られているところであり、しかしながら北海道においては、景気回復の牽引である製造業が少ないことや、大幅な公共事業削減も影響し、地方都市中心街の衰退や、夕張市の財政破綻といった現象が続き、景気回復の足取りは重い状況にあります。

こうした中、北海道地方労組生産性会議（略称 北労生）では、これまで産業、地域を越えて、時代の変化に対応した労働運動をベースに生産性運動を推進してきました。

とりわけ昨年度からは北労生役員会議において、各産別、労組より、各産業、企業を取り巻く課題と今後の展望について事例発表を行い、問題意識の共有化や情報交換を重視した運営を行っているところであります。

また、更なる会員ネットワークの強化を目的に、組織拡大委員会を立ち上げ、現在 2 労組の新規加入をはじめ、組織拡大に取り組んでいるところであります。

このような取り組みを踏まえ、今後の北労生においても、生産性運動の基本理念である生産性運動三原則の今日的意義や社会経済の変化に応じた新しい働き方などについて、会員間の認識の共有化を図り、相互理解を深め、生産性運動の一層の充実を図っていきたいと考えております。